

河北新報のニュースサイト・コルネット

宮城のニュース

一番町で「どすこい」 子ども相撲大会出場者募集



アーケード内での相撲大会はこんな感じ。当日は専用のマットを敷いて取り組みが行われる＝仙台市青葉区のサンモール一番町商店街、東北大相撲部員の協力で撮影

土俵はアーケードの中です。仙台市青葉区のサンモール一番町商店街で7月20日、第1回「野中神社奉納相撲大会」が開かれる。脚本家で横綱審議委員の内館牧子さんが大会名誉会長を引き受け、特別賞を用意。主催する同商店街振興組合は「街ににぎわいをつくりたい」と、小学生らの参加を募っている。

相撲大会は、野中など3神社合同の「一番町三社まつり」のイベントとして開催。野中神社は伊達政宗が仙台の町割りに使った縄を集めて祭ったと伝えられ、相撲の縄や綱とも縁があることから同神社への奉納相撲の形にした。

相撲大会の開催は、実家のちゃんこ店で働き、東北大相撲部などと交流がある同組合青年部長の菅原剛志さん(44)のアイデア。「相撲をとることの楽しさを子どもたちに実感してもらい、街にもぎやかにしたい」と青年部で取り組むことになった。

菅原さんは、東北大相撲部の総監督で、ちゃんこ店にも顔を出す内館さんに協力を依頼。大会名誉会長の就任を快諾してもらった。

大会は、アーケード内に本物の土俵と同じ寸法の専用マットを敷いて開く。土俵脇では安全係2人が待機し、けががないよう見守る。学年別に男女混合で行われ、Tシャツや短パンなど動きやすい服装の上から、まわしを着ける。

参加者全員に日本相撲協会提供の手ぬぐいが配られるほか、上位入賞者にはメダルが贈られる。

大会を手伝う東北大相撲部の佐々木崇さん(20)＝工学部3年＝は「出場する子どもたちが将来、後輩として入部してくれたらうれしい」と多数の参加を願う。子ども相撲の後には、東北大、東北学院大両相撲部の現役部員、OBが出場する成人の部も行われる。

子ども相撲の対象は4歳から小学6年まで。参加料500円(保険料込み)。申し込みはファクス、郵送のほか、組合のホームページでも受け付ける。7月13日必着。ファクス022(227)4852。連絡先は組合事務局022(227)4851。

2009年06月29日月曜日